

て故中の蹊蹊を精々窺ぐるに累日かく間者走歸り。潛ふ告て重し
たり。日向の城中相連に勇を爭ひ威を競ふ。中より日向季則の暴勇あれ
とす智謀。全く行井成光の雄傑にて懲ふ。謹定。桂兼政の智勇あまざ
も小弟の急。日向侮うきを用ひる事なし。只上至元助の。天野元政の妹
聟にして。隆景。元春と親した。綠蘿の名。城兵多く禁を教ふ。これ
中全く。卒うるべ。別く竹井が緯ふおひそむ。口づふ三百考を領むる者にて。
日向のをよし。妻とあがき婦人あり。既ふ二個の男児を儲け。母子齊
一に健ふれども。いわゆる布業。あらとあや。盤子ゆにて。生毛かゆ。比育目
されば。故中の面筋。城外に棲せず。養育ひ。成長して此年。十八
歳うり。されば。座頭の道をゆく。うつるが。足音階に才能勝き。技藝授
那うり。ども。又想左也。固窮る。を官の身にて。今に弃置はと。

精々言狀。うちじて。秀吉渴と聆う。すばらの盲人と右隣人と。人
をもろく。振る。手を。葉歎。足を。身齊。ふ。秀吉が陣中に投來り。のぞみに伝
せ。歌。一曲を。彈吟。うちじて。韻聲。尻枝。うづか。梁の塵。とも。弱まを。不
う。妙ふ。こを。听えられ。秀吉。殊ふ。身。身の。脚。ふ。金綬。鞍。旋。種
種飲食。して。命せり。汝们。足。身。朝夕。と。遠陣中に。ありて。我を慰
めまう。し。か。京へ。伴ひ。検校。小。かく。くれん。至ひ。かたや。と。裏。まも。足。身。被ひ。
在。邊。する。す。どう。うち。飲び。帰く。に。情。せ。り。ぐ。ま。せ。き。と。善。く。す。り。して。其。日。ハ
り。ふ。家。に。立。帰。室。か。と。も。ち。ま。く。高。織。つ。これら。比。御。代。折。簡。ふ。記。書。父
親。左。也。つ。に。告。う。り。くる。行井。成。光。書。翰。を。伏。て。心。中。大。ふ。うち。務。き。備。へ。秀
吉。架。兄。資。と。我。鬼。と。効。り。て。お。いか。せ。う。智。謀。猪。き。羽。紫。が。料。理。行
お。せ。降。參。う。せん。と。り。猪。意。争。ぬ。筆。い。か。せん。と。左。頬。右。頭。沈。吟。